



2026 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社トリプルアイズ  
代 表 者 名 代表取締役 片渕 博哉  
(コード番号：5026 東証グロース)  
問 合 せ 先 取締役 CFO 加藤 慶  
(TEL. 03-3526-2201)

連結業績の前期実績との差異及び  
棚卸資産評価損、貸倒引当金繰入額並びに法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2026 年 8 月期（2025 年 9 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）連結業績について、前期実績値との対比において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2026 年 8 月期第 4 四半期連結会計期間（2026 年 6 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）において、棚卸資産評価損、貸倒引当金繰入額及び法人税等調整額（益）を計上いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 連結業績の前期実績値との差異

(1) 2026 年 8 月期通期連結業績と前期実績値の差異〔I F R S〕

|          | 売上収益  | 営業利益  | 税引前<br>当期利益 | 親会社の所有<br>者に帰属する<br>当期利益 | 基本的<br>1 株当たり<br>当期利益 |
|----------|-------|-------|-------------|--------------------------|-----------------------|
|          | 百万円   | 百万円   | 百万円         | 百万円                      | 円 銭                   |
| 前期実績（A）  | 5,665 | △ 522 | △ 546       | △ 467                    | △ 56.08               |
| 当期実績（B）  | 5,722 | 170   | 97          | 100                      | 11.99                 |
| 増減額（B－A） | 56    | 692   | 643         | 567                      |                       |
| 増減率（％）   | 1.0   | －     | －           | －                        |                       |

（注）当社グループは 2026 年 8 月期より国際財務報告基準（IFRS）を適用しており、前期実績も IFRS 適用後の数値を記載しております。

(2) 差異が生じた理由

売上収益は、AI ソリューション事業における生成 AI 関連の開発ニーズの拡大を背景とした AI 開発契約の拡大等により、前期比 1.0%増となりました。

営業利益は、売上総利益が前期比 189 百万円増加したことに加え、販売費及び一般管理費が前期比 197 百万円、その他の費用が前期比 325 百万円それぞれ減少したこと等により、前期比 692 百万円増となりました。売上総利益の主な増加要因は、AI ソリューション事業における AI 開発契約の拡大、商流の見直し

による粗利率の改善及び顔認証等 AI プロダクトの損益改善、GPU サーバー事業における AI 開発用途向け GPU サーバーを主力とする事業構造への転換による粗利率の改善等であります。また、販売費及び一般管理費の主な減少要因は、GPU サーバー事業において顧客関連資産の償却が前期に終了したこと（前期償却額は 270 百万円）、その他の費用の主な減少要因は、前期に GPU サーバー事業において暗号資産のマイニングマシンの一部商品販売終了に伴い、棚卸資産評価損 326 百万円を計上したことでありました。

税引前当期利益は、営業利益の増加に伴い前期比 643 百万円増となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、税引前当期利益の増加に加え、法人税等調整額（益）が前期比 123 百万円減少したことにより、前期比 567 百万円増となりました。

## 2. 棚卸資産評価損の計上

当社グループの GPU サーバー事業において、当社の連結子会社である株式会社ゼロフィールドが保有する棚卸資産に関して、当社グループが定めた会計上の見積りの方針に従い、収益性の低下に基づく簿価の切下げを行い、棚卸資産評価損 29,387 千円を売上原価に計上いたしました。

## 3. 貸倒引当金繰入額の計上

当社グループの GPU サーバー事業において、当社の連結子会社である株式会社ゼロフィールドが従前台湾企業から購入した在庫の不備に係る未回収債権 77,289 千円に関して、回収遅延が発生していることから、その回収可能性について慎重に精査を行った結果、貸倒引当金繰入額 38,644 千円を金融費用に計上いたしました。

## 4. 法人税等調整額（益）の計上

当社グループの現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について、2026 年 8 月期第 4 四半期連結会計期間（2026 年 6 月 1 日～2026 年 8 月 31 日）にて法人税等調整額（益）21,670 千円を法人所得税費用に計上いたしました。

## 5. 業績に与える影響

本件の業績への影響につきましては、本日公表の「2026 年 8 月期 決算短信〔I F R S〕（連結）」に反映しております。

以 上